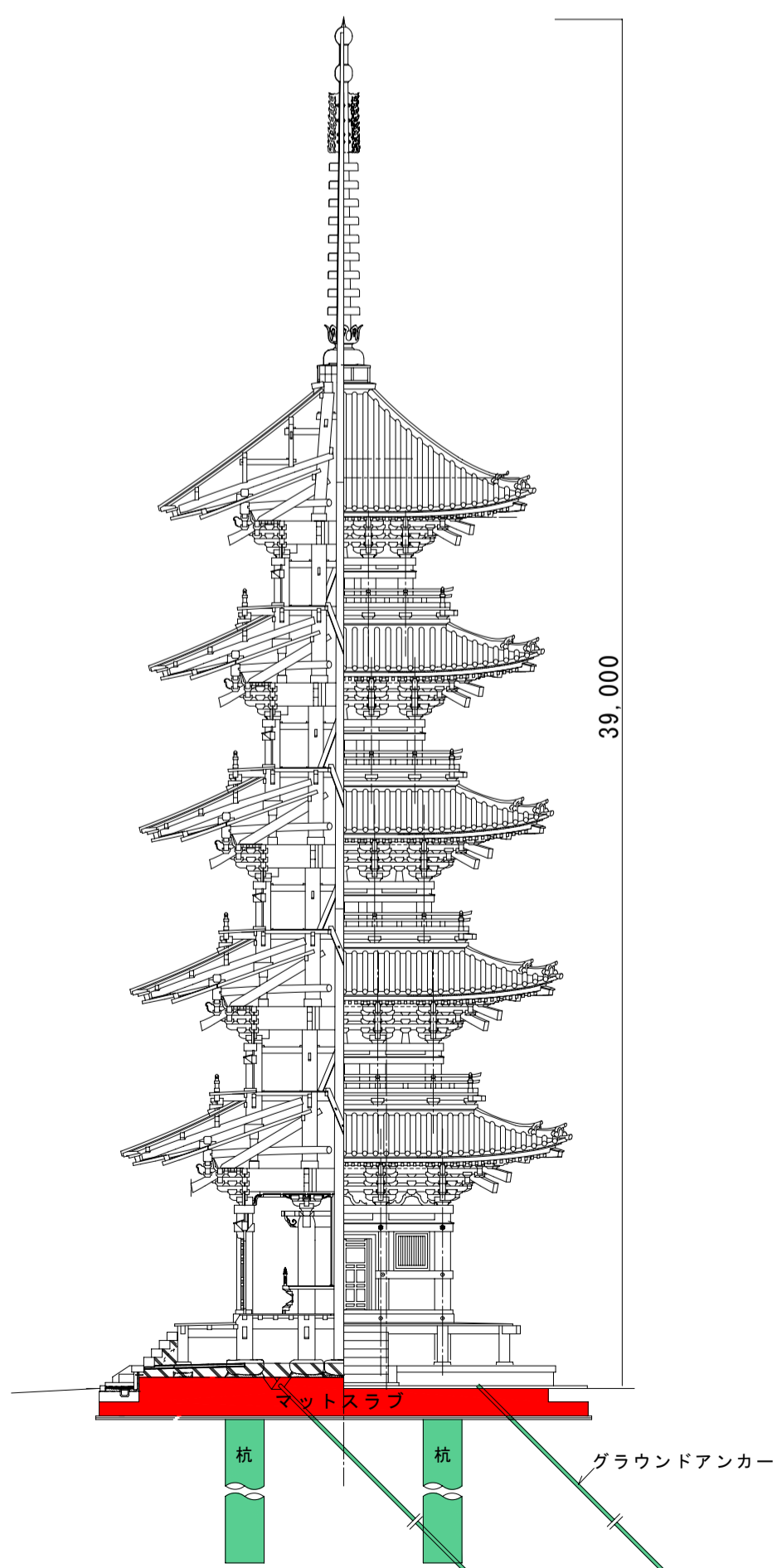
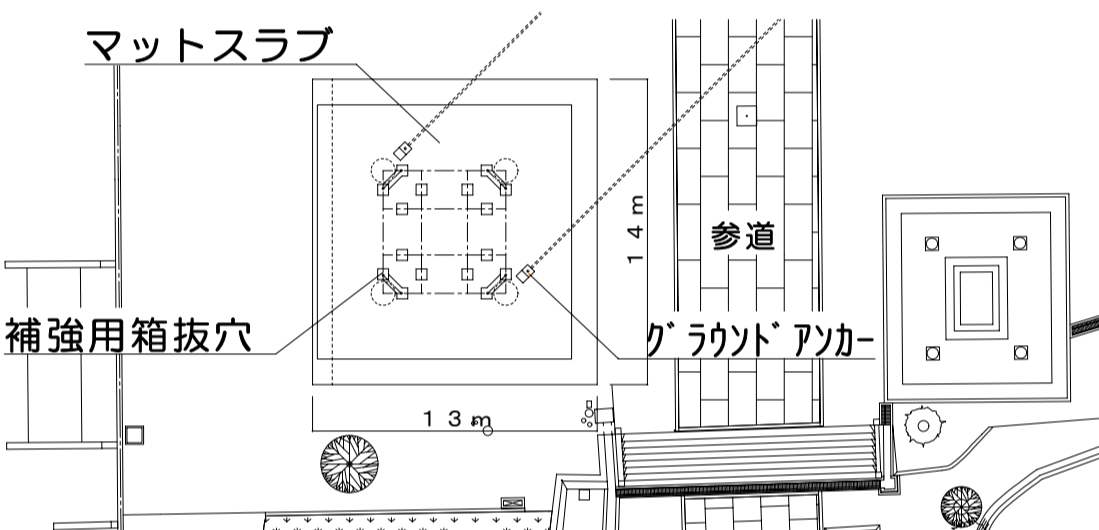


マットスラブ

杭工事から始まった基礎工事ですが、今回はその主役であるマットスラブ* について紹介します。

五重塔の全ての重量を受けるマットスラブは厚さ1.1m、一辺14mの鉄筋コンクリート造です。より高い耐震性能を得る目的があり、構造的な役割は非常に大きいと言えます。10月中旬より鉄筋の組立を始め、コンクリートを打設、4週間の養生期間を経て、強度試験を行い、十分な強度を確認しました。今後、マットスラブの上面に柱礎石を据付け、素屋根と呼ばれる覆屋を建設し木工事が始まります。

*マットスラブ：コンクリート耐圧盤



現在の工事

工事完了の範囲



1. 鉄筋・型枠組立

マットスラブの骨組みとなる鉄筋を組み、型枠を取り付けて輪郭を形成していきます。



2. 配筋検査

鉄筋と型枠の間隔や、鉄筋同士の間隔などが適正であるか検査します。



3. コンクリート打設

コンクリートを打設します。今回はミキサー車35台分のコンクリートを使用しました。



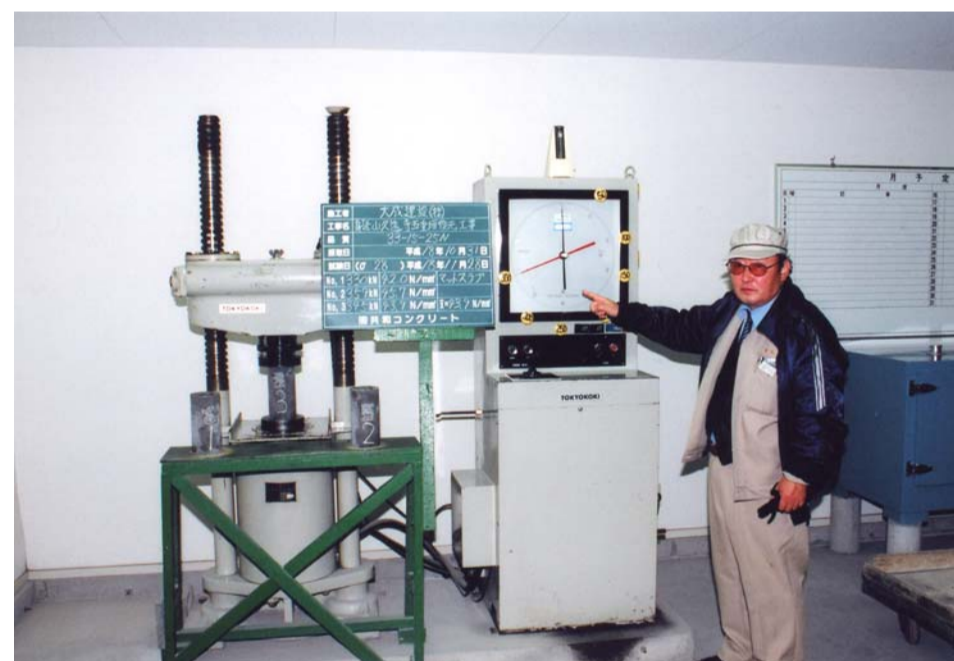
4. 表面均し

こまめに高さを測定しながら、上面が平坦になるように均していきます。



5. 養生

コンクリートと外気温の差が大きくなりすぎないように注意しながら、4週間養生します。



6. 強度試験

採取したテストピースの圧縮試験を行い、設計以上の強度が発現したことを確認しました。



7. グラウトアンカー緊張

前回施工したアンカーをジャッキで引張り、余長を切断してマットスラブに止めます。



8. マットスラブ完成

状態の良いマットスラブが完成しました。上面に見える穴には床下補強用鉄骨が納まります。